ケネディ土曜日本人学校 紀伊國屋書店NY店へ

ケネディ土曜日本人学校の小学2年生クラスは9月13日、社会科見学で紀伊國屋書店ニューヨーク店を訪れた。普段、お客さんとして本屋を利用している生徒達が、お店で働く人の視点に立ち、開店前の準備の様子やお客さんへのサービスの工夫などを知ることにより、社会的視野を広げることを目的としたもの。

店長に開店前の店内を特別に案内してもらい、レジカウンターの中やバックヤードなど、普段は入ることのできない場所も見学させてもらった。また、店長は生徒達からのたくさんの質問に丁寧に答えてくれた。「一番売れているのは漫画」「日本語の本が5万冊販売されている」ことを知り、子どもたちからは驚きの声があがった。学校に戻ってからは、見学で学んだことを振り返り「なぜその仕事が必要なのか」「どのような工夫がされているのか」といった点に注目しながらまとめ学習を行った。生徒たちにとって、本や本屋の仕事への関心を広げる大切な時間となった。

保護者対象 お弁当教室

こどものくに幼稚園

こどものくに幼稚園は、保護者を対象にした「お弁当作りお助けクッキングクラス」を開催した。講師にレイン美子さんを迎え、毎日のお弁当づくりを少しでも楽に続けるためのヒントを伝授してもらった。

お弁当の彩り5色、詰め方の基本、献立を決めるコツ、お弁当を傷ませないコツなどを中心に話が進んだ。人気おかずのミートボールやアジア風にんじんサラダ等の作り方を学んだ。最後はおかずを実際にお弁当箱に詰める作業をした。出来上がると同じおかずを使ってもそれぞれの特徴が出て、みんなで比べながら笑いがあふれた。クラスでは、日頃の子どもの食事の悩みなどを共有しながらのおしゃべり会に様変わり。兄弟姉妹のいる人からのアドバイスもあり、とても有意義な楽しい時間となった。今後もこうした企画を行い、ニューヨークで保護者が楽しく子育てをしている手伝いになれたらと願っている。

日本文化スピーチコンテスト開催

カイル・フラーさん優勝

ONE STORY AWARD
STUDENT SPEECH CONTEST
NYC

今年で3回目となるワン・ストーリー・アワードNY（ONE STORY AWARD NY）の学生スピーチコンテストが20日、マンハッタンのリプレイ・グリア・スタジオで実施され、ハンターカレッジで日本語を学ぶカイル・フラーさん（39）が日本食やアニメなどで親しみのある日本文化についてスピーチして優勝し、日本行き航空券を手にした。主催・Mina Corporation（長久保美奈）、プロデューサー・Mar Creation（河野洋）、共催・JAPAN AWARD（鶴田一磨）

週刊NY生活 教育なんでも相談室

中学の編入学について

フレンズ帰国生 海外赴任サポート　**大橋章記子 相談員**

滞在歴と滞在時の子供の年齢：シンガポール（4年）長男1歳～5歳、次男3歳まで。
ベルギー・ブラッセル（3年）長男中1～中3、次男小5～中1

Q　現在中学1年の息子は小学3年生からアメリカの日本人学校に通っています。中1の3学期を終えて日本に本帰国することになりました。私立中高一貫校か公立中学へ編入するかで迷っています。公立中学へ編入すると高校受験は難しいでしょうか。

A　日本人学校に通われているとの事でしたら日本の学習はされているので、私立中学、公立中学どちらを選択されても学習面など大きな変化に戸惑われることは少ないかと思います。私立中学の編入試験日程は試験の開催時期が決まっている学校、個別に編入試験を受け付けてくれる学校とさまざまです。試験内容については編入先の学校の進度に沿った内容を出題することもありますので、お子様の授業の進度によって未習部分が出題される場合もあります。以前私が訪問した学校には、配布可能な編入試験の過去問の用意があるところもありました。まずは志望される学校に問い合わせすることをおすすめします。また、編入試験の受験準備として在外の日系の塾、もしくはオンライン授業で対応してくれる帰国生向けの塾も多数あります。弊会発行の「帰国生のための学校案内」にも首都圏版となりますが、編入試験、高校帰国生入試について掲載しておりますので参考にして頂けたら幸いです。

公立中学への編入につきましては、転居先の市区町村の教育委員会に連絡し、学区内の中学へ編入となります。公立中学を選択した場合に高校受験が難しいのではとご心配のご様子ですが、中2からの編入ですので高校受験の準備期間としましては十分あると思います。実際にお子様と学校見学、説明会に参加することで、帰国生が多く在籍している学校や、お子様に合う学校選びができます。行きたい高校がみつかり、受験勉強のモチベーションが上がるのではないでしょうか。我が家の場合ですが、長男の高校受験のタイミングで帰国しました。次男は中2から日本の中学に編入する事になるため、長男の帰国入試準備と並行して次男の中学探しも始めました。私立の中高一貫校の編入も考えましたが、帰国先が赴任前に暮らしていた地域だったこともあり、次男の希望した公立中学へ編入しました。中学に編入してからは高校入試の為の塾に通い、部活も中3の引退まで頑張ることができました。多数の高校見学、説明会、部活体験などに参加し、公立高校進学を第一志望に決めた次男でしたが、帰国生入試の出願条件が海外在住期間2年以上4年未満で帰国後1年以内の者、または在住期間4年以上で帰国後2年以内の者、という要件でしたので該当せず、一般入試で受検することになりました。帰国生入試の出願資格は私立高校、公立高校、各学校で異なります。公立高校の帰国生入試は都府県で出願条件が異なりますので、早めに確認することをおすすめします。お子様の場合、海外での在学期間が連続して5年になりますので、私立高校、公立高校ともに帰国生入試出願資格に該当する学校が多数あります。多くの学校が国・数・英3教科に加え面接や作文といった試験になります。私立の帰国生入試では英語資格保有により、英語試験に加点があったり、優遇措置がある学校もありますので、ご準備されることをおすすめします。保護者様、お子様のご希望に沿う編入先がみつかることをお祈りいたします。

「フレンズ帰国生 海外赴任サポート」では「帰国生のための学校案内」を毎年発行しています。帰国生入試を行う首都圏の学校を訪問して集めた帰国生インタビューや入試・編入情報などを掲載、帰国生のご家庭から好評を頂いています。HPをご覧の上、ぜひご利用ください。

本欄への相談は
フレンズ帰国生海外赴任サポート
● ホームページから
http://fkikoku.sun.bindcloud.jp/

1983年10月設立。海外在住経験のある母親たちのボランティア団体。海外赴任のアドバイス、帰国子女入試・編入など、海外生活教育相談を中心に活動している。

河合塾 帰国生大学入試説明会 2025

帰国生大学入試の概況と今後の受験対策

①帰国生入試の基礎知識と海外在住中の心構え
②主な大学の最新入試情報と攻略法
③河合塾海外帰国生コースのカリキュラムの特長
★内容は都合により変更になる場合があります。秋入学や英語プログラムの大学の情報は提供しませんのでご了承ください。

説明会の特長
1）帰国生大学入試を熟知し、長年、北米で受験生の指導をしている進学アドバイザーが分かりやすく説明
2）オンラインによるライブ配信なので、全地域から同内容の説明を同時に視聴でき、終了後に直接質問可能
3）説明に使用したスライドと帰国生大学入試情報満載の情報誌『栄冠めざして』のデータを無料進呈
4）説明会終了後のメールやオンラインでの質問や相談に、迅速、かつ手厚く対応

参加方法
・必ず事前にお申込みください。（日本時間の実施日前の金曜日午後4時まで）
・下記のURLまたは右記のQRコードから参加申込フォームにアクセスしてお申込みください。
＊E-mailでは申し込めません。
https://forms.office.com/r/6XcBRr3hB5
・定員は各日程とも100家庭ですので、お早めにお申し込みください。
・在住国・地域に関係なく、どの日程にもご参加いただけますが、内容の一部は北米版となります
また、時差にご注意ください。
・より多くの方に参加いただけるよう、1家庭1デバイスでのご参加とさせていただきます。
・参加に必要なIDとパスコード等の情報は、実施日の2～3日前に、E-mailでお知らせします。
（届かない場合には、下記のE-mailにてお知らせください。）

実施日時
10月の実施日
10月12日（日）・26日（日）
11月の実施日
11月9日（日）・23日（日）
12月の実施日
12月7日（日）・21日（日）
実施時間
米国東部時間：午後1時～3時
米国中部時間：正午～午後2時
米国太平洋時間：午前10時～正午

お問い合わせ先 河合塾
河合塾海外帰国生コース北米事務所
E-mail：kikoku@ujeec.org
http://www.kawai-juku.ac.jp/kikoku/